

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年11月13日

【四半期会計期間】 第48期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 秀 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297 - 2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第47期 第2四半期 連結累計期間	第48期 第2四半期 連結累計期間	第47期
会計期間	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	5,109,762	9,707,682	16,125,234
経常利益 (千円)	514,411	1,388,803	1,562,943
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	365,213	874,587	418,759
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	363,422	867,066	435,119
純資産額 (千円)	14,265,401	14,999,508	14,312,106
総資産額 (千円)	26,086,344	34,922,219	32,667,461
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	16.23	38.88	18.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	54.7	43.0	43.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,630,309	2,311,972	922,219
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,292,725	360,401	4,081,120
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,645,672	777,103	3,232,108
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,332,855	8,574,883	6,382,467

回次	第47期 第2四半期 連結会計期間	第48期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.27	31.37

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

これにより、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成27年3月31日）に比べ2,254百万円増加し、34,922百万円となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結の範囲に含めております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,870百万円増加し、18,684百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（2,192百万円増）、仕掛品の増加（955百万円増）の一方で、受取手形及び売掛金の減少（125百万円減）、原材料の減少（165百万円減）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ615百万円減少し、16,237百万円となりました。これは主に賃貸用不動産の売却等に伴う建物の減少（190百万円減）及び土地の減少（311百万円減）、連結範囲の変更に伴う投資有価証券の減少等（207百万円減）の一方で、連結範囲の変更に伴うのれんの増加（89百万円増）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,567百万円増加し、19,922百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加（1,049百万円増）、1年内返済予定の長期借入金の増加（236百万円増）、未払法人税等の増加（183百万円増）、流動負債その他に含まれる未払金の増加（267百万円増）及び株式会社レッド・エンタテインメントを連結の範囲に含めたことに伴う前受金の増加等（222百万円増）、長期借入金の増加（468百万円増）、固定負債その他に含まれる長期預り保証金の増加（125百万円）の一方で、短期借入金の減少（1,123百万円減）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ687百万円増加し、14,999百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（694百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は43.0%と前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少しました。

(2) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高9,707百万円（前年同期比90.0%増）、経常利益1,388百万円（前年同期比170.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益874百万円（前年同期比139.5%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高8,395百万円（前年同期比74.0%増）、セグメント利益1,608百万円（前年同期比186.8%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高300百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益161百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(福祉介護事業)

福祉介護事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高382百万円、セグメント損失47百万円となりました。

なお、福祉介護事業は、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(電気事業)

電気事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高105百万円、セグメント利益25百万円となりました。

なお、電気事業は、前連結会計年度末より報告セグメントとしております。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第2四半期連結累計期間は売上高634百万円、セグメント利益29百万円となりました。
なお、コンテンツ事業は、連結範囲の変更に伴い第1四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,895百万円増加し、また、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額297百万円を合わせて8,574百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,311百万円(前年同期は使用した資金1,630百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,458百万円の計上、減価償却257百万円の実施、売上債権の減少219百万円、仕入債務の増加973百万円がある一方で、たな卸資産の増加672百万円、法人税等の支払額336百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は360百万円(前年同期は使用した資金1,292百万円)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入522百万円がある一方で、有形固定資産の取得による支出95百万円、貸付による支出70百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は777百万円(前年同期は得られた資金1,645百万円)となりました。これは主に短期借入金の純減額1,296百万円、長期借入金の返済1,102百万円、配当金の支払178百万円がある一方で、長期借入れによる収入1,800百万円の資金取得があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は592百万円であります。

なお、第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況については、連結範囲の変更に伴い、新たにコンテンツ事業における研究開発費を含めております。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、連結範囲の変更に伴いコンテンツ事業における株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローの従業員が46名(臨時従業員の人数を除く)増加しております。

提出会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、従業員の著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における周辺設備機器(システム機器)の生産が増加しており、また、遊技機(パチスロ機)等の生産も販売増加に伴い著しく増加しております。

なお、不動産事業は生産活動を行っておりません。

受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っております。

当第2四半期連結累計期間において、販売増加に伴い生産も増加しております。

なお、不動産事業は受注活動を行っておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間において、機器事業における遊技機(パチスロ機)等の販売が増加しております。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、横浜市青葉区内の賃貸用不動産を売却いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年9月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)オーイズミホールディングス	神奈川県伊勢原市伊勢原 2 - 5 - 43	10,420	46.31
大泉秀治	神奈川県厚木市	3,017	13.41
大泉政治	神奈川県厚木市	866	3.85
大泉賢治	神奈川県厚木市	604	2.69
田澤路子	神奈川県伊勢原市	485	2.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 - 7 - 1	300	1.33
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 - 10 - 17	210	0.93
オーイズミ取引先持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	208	0.93
オーイズミ従業員持株会	神奈川県厚木市中町 2 - 7 - 10	192	0.85
大泉絵美	神奈川県厚木市	182	0.81
計		16,486	73.27

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,477,000	224,770	
単元未満株式	普通株式 18,700		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,770	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,300		4,300	0.0
計		4,300		4,300	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間での役員の異動は以下のとおりです。

(1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (千株)
取締役		新川 勉	昭和34年6月10日生	平成2年12月 平成21年4月 平成27年8月 平成27年8月	税理士資格取得 税理士法人サンパートナーズオ フィス設立 代表就任 現任 厚木市市議会議員 現任 当社取締役 現任	(注)2	

- (注) 1 取締役 新川勉氏は社外取締役です。
2 平成28年3月期に係る定時株主総会終結の時までです。

(2) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性 8 名 女性 1 名 (役員のうち女性の比率11.1%)

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,382,467	8,574,883
受取手形及び売掛金	5,073,988	4,948,738
商品及び製品	993,871	937,385
仕掛品	573,915	1,529,375
原材料	1,320,419	1,155,407
コンテンツ	-	42,919
繰延税金資産	203,953	134,792
その他	1,278,250	1,364,539
貸倒引当金	13,059	3,565
流動資産合計	15,813,808	18,684,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,700,608	3,510,157
土地	7,742,506	7,430,964
その他（純額）	3,232,513	3,157,102
有形固定資産合計	14,675,628	14,098,224
無形固定資産		
ソフトウェア	32,545	68,131
のれん	266,385	356,265
その他	12,695	18,576
無形固定資産合計	311,626	442,972
投資その他の資産		
投資有価証券	794,982	587,565
長期貸付金	1 509,166	1 544,166
繰延税金資産	1,723	3,152
その他	823,425	843,941
貸倒引当金	1 262,900	1 282,279
投資その他の資産合計	1,866,398	1,696,546
固定資産合計	16,853,652	16,237,743
資産合計	32,667,461	34,922,219
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,659,939	4,709,225
短期借入金	2,296,000	1,172,450
1年内返済予定の長期借入金	1,499,071	1,735,527
未払法人税等	326,355	510,108
賞与引当金	57,508	54,643
製品保証引当金	18,000	18,000
返品調整引当金	-	2,387
受注損失引当金	-	491
その他	554,538	1,148,086
流動負債合計	8,411,413	9,350,919

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
固定負債		
長期借入金	8,105,510	8,573,783
繰延税金負債	38,420	35,192
役員退職慰労引当金	467,547	497,967
退職給付に係る負債	48,813	51,666
資産除去債務	63,543	69,117
その他	1,220,106	1,344,066
固定負債合計	9,943,941	10,571,792
負債合計	18,355,355	19,922,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,567,295	13,262,264
自己株式	4,091	4,137
株主資本合計	14,243,804	14,938,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,302	60,780
その他の包括利益累計額合計	68,302	60,780
純資産合計	14,312,106	14,999,508
負債純資産合計	32,667,461	34,922,219

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,109,762	9,707,682
売上原価	3,935,891	6,863,540
返品調整引当金繰入額	-	2,387
売上総利益	1,173,870	2,841,754
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,304	351,045
役員報酬	95,562	118,372
給料手当及び賞与	93,130	141,159
賞与引当金繰入額	23,596	23,250
退職給付費用	14,439	12,679
役員退職慰労引当金繰入額	4,643	30,419
その他	440,453	713,989
販売費及び一般管理費合計	674,130	1,390,914
営業利益	499,740	1,450,840
営業外収益		
受取利息	1,697	1,824
受取配当金	10,441	5,420
その他	22,756	25,224
営業外収益合計	34,895	32,469
営業外費用		
支払利息	18,075	52,326
貸倒引当金繰入額	-	20,000
その他	2,149	22,179
営業外費用合計	20,224	94,505
経常利益	514,411	1,388,803
特別利益		
固定資産売却益	-	85,453
投資有価証券売却益	32,676	-
特別利益合計	32,676	85,453
特別損失		
固定資産除売却損	-	15,488
特別損失合計	-	15,488
税金等調整前四半期純利益	547,088	1,458,768
法人税、住民税及び事業税	146,495	516,969
法人税等調整額	35,379	67,211
法人税等合計	181,874	584,181
四半期純利益	365,213	874,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,213	874,587

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	365,213	874,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,791	7,521
その他の包括利益合計	1,791	7,521
四半期包括利益	363,422	867,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,422	867,066

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,088	1,458,768
減価償却費	95,959	257,615
のれん償却額	-	28,163
貸倒引当金の増減額(は減少)	15,428	8,517
製品保証引当金の増減額(は減少)	3,000	-
賞与引当金の増減額(は減少)	1,365	2,865
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,024	2,852
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,643	30,419
返品調整引当金の増減額(は減少)	-	2,387
受取利息及び受取配当金	12,138	7,244
支払利息	18,075	52,326
投資有価証券売却損益(は益)	32,676	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	85,453
売上債権の増減額(は増加)	695,118	219,602
たな卸資産の増減額(は増加)	117,282	672,708
仕入債務の増減額(は減少)	2,201,790	973,840
前渡金の増減額(は増加)	-	25,405
その他	136,618	451,946
小計	1,148,659	2,692,765
利息及び配当金の受取額	12,138	7,244
利息の支払額	18,888	51,544
法人税等の支払額	474,901	336,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,630,309	2,311,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	360,882	-
有形固定資産の取得による支出	1,602,704	95,455
有形固定資産の売却による収入	-	522,116
無形固定資産の取得による支出	-	5,683
貸付けによる支出	65,000	70,000
貸付金の回収による収入	22,999	27,999
その他	8,903	18,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,292,725	360,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	777,600	1,296,000
長期借入れによる収入	1,750,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	725,136	1,102,726
自己株式の取得による支出	-	45
配当金の支払額	156,791	178,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,645,672	777,103
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,277,363	1,895,270
現金及び現金同等物の期首残高	5,610,219	6,382,467
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	297,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,332,855	1 8,574,883

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローは、重要性が増したことから連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 係争事件

当社は、医療法人社団永潤会(現医療法人社団やまゆり会)から取得した土地を差押えた貸金業者及びその債権の一部譲渡を受けた債権回収業者に対し、当該土地に対する強制執行の不許と当社への所有権移転登記の承諾を求める訴訟を提起していましたが、平成27年5月15日に、横浜地方裁判所より当社敗訴の第一審判決を受けました。

これにより、同医療法人社団へ土地購入代金等として支出している530,000千円について、回収不能額を265,000千円と見積もり、貸倒引当金(繰入額は営業外費用)に計上しております。

なお、当社は平成27年5月29日に東京高等裁判所に控訴しております。

保証債務

関係会社における銀行借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
妙高酒造株式会社	435,250 千円	415,150 千円
株式会社インターグロー	150,000 千円	千円
合 計	585,250 千円	415,150 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定 預入期間が3か月を 超える定期預金	4,332,855 千円 千円	8,574,883 千円 千円
現金及び現金同等物	4,332,855 千円	8,574,883 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	157,470	7	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年8月26日 定時株主総会	普通株式	179,965	8	平成27年7月21日	平成27年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,826,401	283,361	5,109,762		5,109,762
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		14,700	14,700	14,700	
計	4,826,401	298,061	5,124,462	14,700	5,109,762
セグメント利益	560,807	197,930	758,738	258,997	499,740

(注)1 セグメント利益の調整額 258,997千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業	電気事業	コンテンツ事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	8,383,275	285,499	382,745	105,153	551,008	9,707,682		9,707,682
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,340	14,700			83,333	110,373	110,373	
計	8,395,615	300,199	382,745	105,153	634,341	9,818,056	110,373	9,707,682
セグメント利益又は損失()	1,608,416	161,020	47,958	25,486	29,148	1,776,113	325,272	1,450,840

(注)1 セグメント利益の調整額 325,272千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において非連結子会社でありました、株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結子会社としたことに伴い、同2社が運営する「コンテンツ事業」を新たに報告セグメントといたしました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	16円23銭	38円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	365,213	874,587
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	365,213	874,587
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,779	22,495,641

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月13日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 寺田 昭 仁 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 越智 一 成 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。